

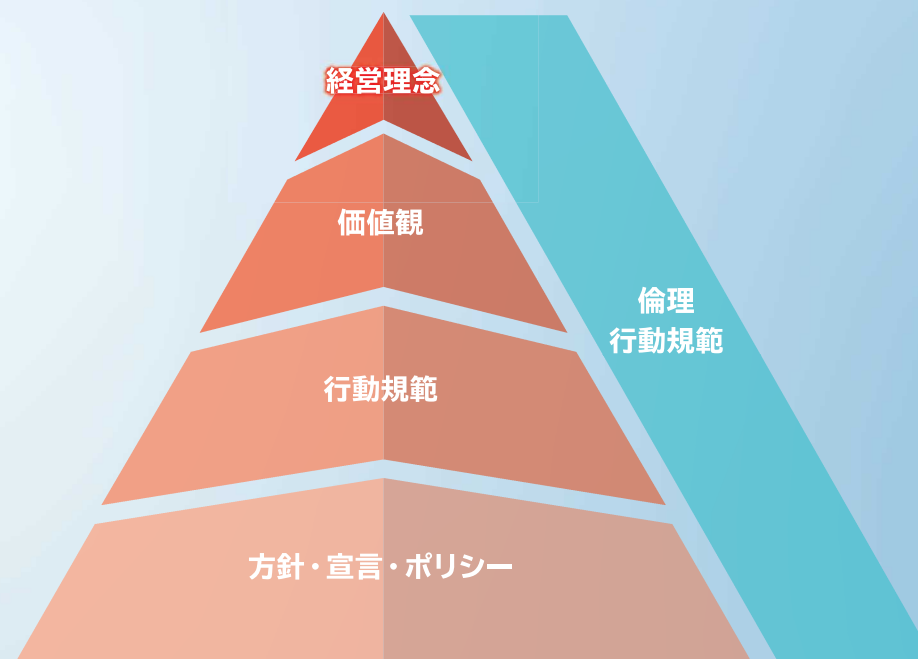
経営理念

バイオから宇宙まで、
化学の力で
新しい価値を創造する
企業グループとして、
人と社会に貢献します。

2023年4月、日油グループは、新たな経営理念体系へと改定しました。

「バイオから宇宙まで」のキャッチフレーズのもと、
将来に向けて結束を強め、共に業績の向上を目指し、
環境保全・安全への配慮といった社会との共生を基本方針とする
従来の方針を継承しつつ、化学企業として
人と社会の発展に貢献することを、追求していきます。

新・経営理念体系



日油グループの事業活動の基本となるミッション（使命）・ビジョン（あるべき姿）を示す「経営理念」、これを実践する上で大切にすべきバリューを示す「価値観」、業務において具体的に行動するための心構えを示す「行動規範」を軸とする、新たな経営理念体系へと再構成しました。これらのもとに「方針・宣言・ポリシー」を配し、「倫理行動規範」は経営理念体系の全体にかかる基礎と位置付けています。



価値観

経営理念を実践する上で、
日油グループが重視する3つの「価値観」を新たに決めました。

挑戦

協働し、刺激しあい、失敗を恐れず、
環境の変化に対応し、従業員一人ひとりが成長を目指し、
常に新たな領域へ挑み続けること

公正

社会の構成員として、高い倫理観を持ち、
誠実に行動し、価値観の多様性を
受け入れる企業風土を築いていくこと

調和

安全を意識し、地球環境と調和しながら、
互いを尊重し、従業員個々の力を合わせて
持続可能な社会と共生していくこと

行動規範

「経営理念」と「価値観」に基づき、
業務において具体的な行動を実践するための心構えを示すものとして、
新たに「行動規範」を決めました。

- 1 人と社会の発展のため、
最高の品質とサービスをグローバルに提供します。
- 2 総合力を発揮し、幅広い分野で
新しい価値を創造する先端技術と製品を開発します。
- 3 意欲的に挑戦し、
自己の成長と充実したライフスタイルの実現を目指します。
- 4 多様な個性を尊重し、
高い倫理観と良識をもって公正に行動します。
- 5 安全や環境との調和を強く意識し、
個々の力を結集して社会的課題を解決します。



経営理念体系の改定にあたって

～変化の激しい時代、「人」の成長に根幹をなす経営へ～

これまでの経営理念は、1992年に制定された後、2002年に一部改定され、その後の20年にわたって、日油グループの経営活動の指針として役割を担ってきました。社内外において広く慣れ親しまれていて、私たちの歴史の中で磨かれ、脈々と受け継がれてきた誇るべきものです。しかし、2002年の改定から20年余りを経て、日油グループを取り巻く事業環境や社会情勢は、大きく2つの変化に直面しています。

第一に、世界的な潮流として、気候変動問題や人権課題などの国際的な解決に向けた枠組みに対し、目標と調和する実効性のある活動が企業の責務になっています。2015年に国連総会で自主目標として採択されたSDGs（持続可能な開発目標）は、国や政府だけの

レベルにとどまらず、企業の社会的責任として広く認知されるようになりました。さらに、2050年のカーボンニュートラル達成に向けた温室効果ガス削減の具体的な行動目標の設定、サプライチェーンにおける人権尊重の取り組みは、事業の持続的成長において不可欠なものとなっています。

第二に、さらなる技術革新です。テクノロジーの進化はこれまでもくり返されてきましたが、IoTやAI、量子コンピューターなどの分野は、以前にも増して社会や事業基盤にインパクトを与えるものへと進化しています。社会インフラになりつつあるテクノロジーにより、医療・バイオ、電気自動車（EV）、第5世代移動通信システム（5G）などのさまざまな分野で、日進月歩のイノベーションを遂

げています。次の時代の新たな価値創造には、急速に発展するテクノロジーに追従しながらも自らの技術を磨き、新技術・新製品の開発に挑戦する姿勢が求められています。

これら2つの変化に加え、「不確実が当たり前」となった社会と適切に向き合っていくこと。これには、企業を支える土台である「人」の成長に根幹をなす経営が重要であり、経営理念体系を改定することにしました。

新たな経営理念体系は、私たちの立つべき場所を照らし、この先の事業が社会とともに成長していくための「羅針盤」となるもの。従業員と日油グループ相互の成長に向け、経営理念体系を事業経営や組織運営の中心に据えて、行動を促していきます。